

・三好さんの話を聞いて、沖縄戦が一番印象に残りました。沖縄に住んでいた方は12万人、戦った方は8万人、あわせて約20万人の方々が亡くなったことに驚きました。

・広島と長崎の原爆のことを知っているつもりだったけれど、まだまだ知らないことがたくさんあった。一番驚いたのは「沖縄と兵庫」の関係が深いことです。沖縄の平和の礎に兵庫県出身の方の名前もたくさんあると知って驚きました。

・原爆で合計21万4000人の方が亡くなったのは残念だと思う。平和が一番いいと思った。そして、戦争で一番悪いのは米軍ではなく、戦争だということがわかった。これからは平和になるように、戦争はいけないことだと広めていきたい。

・知らないことをたくさん知れてよかった。兵庫県だけでもたくさんの方が亡くなっていることに驚いた。また、兵庫県の方がいろんなところでいろんなことに関りを持っていたことに驚いた。また、沖縄にたくさん米軍基地があると聞いて怖いと思った。

・戦争では、何も得るものがないが、人々の命を奪ったり、心に深い傷をつけたりするものであることが改めてわかった。広島原爆の怖さを知らない人に知ってもらいたいと思ったし、二度と戦争が起こってほしくないと思った。これから、日本や他の国々でも戦争がなくなり、みんなが安心して暮らしていける世界になって欲しいです。

・広島と長崎の原爆の話だけでなく、姫路や神戸など、身近な場所の空襲の話も聞くことができた。世界を平和にするためには、相手の立場も考えて行動することが大切だと思った。

・広島や長崎は原爆でたくさんの方が亡くなったのは知っているけれど、他の県でも多くの犠牲者がいたことに改めて驚いた。また、全国に12か所の飛行機製造所があり、11か所が攻撃され、姫路の川西航空機姫路製作所が狙われるということがわかっていたことに驚いた。そして、姫路にも空襲があったことに驚いた。

・戦争や原爆、核兵器は今の時代には少し遠く感じていたけれど、今日の話聞いて、私の考えが変わりました。特に「蛍の墓」の話が心に残りました。内容は知っていましたが、フィクションだと思っていました。戦争では死んでしまう子どもも多いことを知り、悲しくて残酷なものだと改めて思いました。

・原爆症という言葉を知りました。詳しい症状など、もっと知りたくなりました。私自身は戦争を経験していないけれど、多くのことを知ったり、後の世代に伝えたりなど、できることをしたいと思いました。

・今も昔も戦争は起きているけれど、戦争は何にもならないし、悪いことだと改めてわかりました。今日の話聞いて、戦争を知らない若い記者が戦争についての記事を書いていることにも驚きました。他にも、修学旅行に行った中学生が小学生に戦争について学習したことを教えているなど、戦争の悲惨さについて攻勢に語り継ぐいい取り組みだと思った。そして、どんどん次の世代に伝えていくことで、戦争をたくさんの方が身近に感じることができればいいと思った。

・広島で日本に来ていた韓国人も亡くなっていたと初めて知った。また、人が足りなくなって大学生も行かなければいけないことを知ったときはショックだった。子どもが靴磨きをしている写真を見て、親を亡くした子が自分自身でお金を稼いで生活しないといけない状況にあったことにもショックを受けた。

・私が三好さんの話の中で印象に残っているのは、戦争を経験していない人が語り継ぐことが大切だということと、平和を自分事として考え、次の世代に伝えるということです。平和学習を通して、太

平洋戦争ではとても多くの人々が亡くなったということと、平和の大切さについて知ることができた。戦争をなくしたり、起こさせたりしないためにも自分たちが語り継いでいく必要があると思いました。広島でも平和の大切さや悲惨さを学ぼうと思いました。

・戦争を経験した人は、私たちより戦争をもっと理解していて、恐ろしいものだと知っているからこそ語り部として、あるいは違う形で後世に戦争を伝えようとしているのがわかった。だからこそ、平和について話を聞いた人たちは、これからもいろんなことを知り、覚え、伝えていかないといけないのだと思った。改めて、「平和」とは何かを考え、広島での学習に活かしていきたいです。

・今日の話聞いて、広島のこと、沖縄のこと、兵庫のこと、外国のことなど、たくさん知りました。事前学習以上のお話を聞くことができました。登下校中に伏せて移動する子どもの写真や靴磨きをしてお金を稼ぐ子どもの写真など、何もいいことがないと思いました。いまだに戦争という乱暴な方法で物事を解決しようするのか不思議に思いました。

・広島原爆は、私が思っていたより意味の深いことがわかりました。今日話を忘れずに広島に行きたいと思います。私自身も広島で戦争の恐ろしさを学ぼうと思うし、広島から帰ってきたら、学んだことをお母さんやお父さんにも話したいと思います。

・私が原爆を受けていなくても、次の世代に受け継いでいかななくてはいけないと感じた。当時の姫路の空襲の時に、残っている姫路城を見て、自分たちもまだやれるんだと苦勞しながらも、何とか生きがいを感じて生き抜いた方々がいたことを知った。平和を目指そうとしている人もたくさんいるのに、戦争を続けるのはどうしてなのだろうかと思った。語り部の近藤さんの話を聞いて、やりたくないのに国の意思で戦争をしなければならないのはとても辛いことだと感じた。戦争の悲惨さを語り継いでいきたい。

・広島と長崎に原爆が落とされ、また、全国各地でも空襲が起き、たくさんの人々が犠牲になった戦争を許せないし、二度としてはいけないと思った。

・私たちができることは、未来につなげていくことだと思った。未来につなげることで、戦争を知らない世代でも戦争のことを知ってくれると思う。戦争を経験した方々は、70年以上経った今でも悲惨だった記憶は変わらないと思った。戦争を経験していないけれど、今日の講演で戦争のことがよくわかった。これからは、私たちが戦争を教えられるように、未来につなげていきたい。

・私は、いろんな方が犠牲になり、家も失い、どうして戦争をする必要があるのか疑問に思いました。どうして何の関係もない方が犠牲にならないといけないのか不思議に思いました。政府の考えで、侵攻などをするときに関係のない人が巻き込まれることは違うと思います。このようなことを繰り返さないためにも、私たちも努力して世界を変えなければならないと思いました。

・神戸では、小さなものも含め、約100回の空襲があったことに驚きました。また、姫路が空襲にあったとき、川西航空機姫路製作所を爆撃し、逃げ人がいる河川敷にまで爆弾を落とすことがあったことに驚きました。また、戦争孤児の多さが、神戸市が全国2位だったことにも驚きました。

・私は今日の学習を通して、たくさんの方が亡くなってしまったけれど、この過ちを繰り返さないように私たちががんばっていかないといけないと感じた。

・戦争は人々の命をたくさん奪い、人々の幸せを踏みにじるものだと思った。他人の痛みを共有し、自分のこととして捉えること、戦争のことを後世に伝えていくことが大切だと思いました。戦争には何もいいところがないので、戦争は決してしてはいけないと思った。

・今日の話聞き、学んだことは「他人のことを自分のこととして捉える」ということです。今、この瞬間にも、世界では80年前の日本と同じことをしています。「日本は戦争をしないから自分には関係ない」ではなく、「世界の戦争を止めるために、自分にもできることがあるかもしれない」と考えられるようにしたいです。そのためにも、普段から世界情勢や戦争のニュースにも関心を持つようと思いました。

・戦争を知らない私には、少し遠いことのように思っていたのですが、数々の悲惨な歴史を知り、今までよりもさらに身近に感じなければならぬと思いました。私たちよりも若い子どもたちが家族を亡くし、働かなければならなかったことにはとてもショックを受けました。これからは、この出来事を身近な人に話し、この歴史を忘れずに、自分のこととして考えていきたいです。

・私の身近な場所も空襲を受けていたことに驚きました。広島と長崎だけでもとても多くの方が犠牲になっているのに、他のところにも空襲や爆弾が落とされ、より多くの方が亡くなっているのを知って、戦争をしてはいけないという思いが強くなりました。

・今の日本では戦争は起きていないが、他の国に視野を広げると、多くの国同士が戦争を起こし、多くの方が亡くなっていると思った。

・姫路の手柄山にある慰霊塔が、全国51万人の慰霊塔があることを初めて知った。

・以前から戦争は絶対にいけないものだと思っていましたが、改めて戦争はたくさんの人の命と笑顔を奪うので、私たち中学生や小学生など、若い世代が知るべきだと思った。戦争を経験した世代は、今はもう少ししかいないが、伝える人がいなくなってしまうのは、絶対にいけないと思った。

・戦争というものは、命を奪い、人権を侵害するもの。「どんな戦争でも、大量殺人で、人類最大の罪悪である」というのは、まさにその通りだと思った。すべての命は等しく、尊い。今も戦争が続いているけれど、他人事と思わず、自分事として捉えたいと思った。

・姫路の話で、白鷺橋が戦争遺産であることを初めて知った。何度も行ったことがあったが、じっくり見たことがなかったので、次はじっくり見たいと思った。

・神戸でたくさんの人が亡くなったことや、「火垂るの墓」のモデルだったことは初めて知った。

・今日の講演では、気になる言葉があった。「歴史は韻を踏む」、「どんな戦争も大量殺人であり、人類最大の罪悪である」の2つだった。まさにその通りだと思った。戦争は大量殺人であり、どんな言葉を並べても、人間同士の殺し合いに過ぎず、そのあとに残るのは、悲しみや憎しみなどの感情だけだと思った。

・姫路にも戦争遺産がたくさんあるので、広島に行く前に姫路の戦争遺産を見ようと思った。そして、火垂るの墓も改めて見てみようと思った。

・戦争は、人命を奪い、人権を侵害する。たくさんの人が亡くなってしまう戦争は、絶対にやってはいけないので、自分事として考え、次の世代に戦争を伝えていきたい。

・戦争のことを自分事として受け継いでいきたい。今、ウクライナから日本に来ている人が多いことに驚いた。

・今のウクライナとロシアの戦争で、日本に多くの方が逃げてきていることを初めて知った。広島に行く前に、戦争について多くのことを知れてよかった。

・今日の講演を聞いて、今まで知らないこともたくさん知ることができた。特に戦争は人命を奪い、人権を侵害する。戦争は人類最大の罪悪だということがわかりました。そして、一番心に残ったの

は、三木市に住んでいる近藤さんの話で、「B29に乗っていた副操縦士が泣いていた」という言葉でした。誰も戦争なんてしたくないのだと思った。

・今日の講演を通して、戦時中の日本の悲惨さを知った。大学生も戦地に行っていたと知り、大学生のいとこのことを考えてしまった。戦時中であれば、いとも戦争にいかなければならないのかと思った。

・今日の講演を聞いて、これから私がすべきことがよくわかった。戦争の恐ろしさを後世に伝えていかなければ、また戦争が起こってたくさんの方が亡くなり、同じ過ちを繰り返すことになってしまう。絶対にそのようなことが起きないように、発信していきたい。この講演をいかして、11月に広島に行くときには、平和や命の尊さ、原子爆弾の酷さなどについて深く考えられるようにしたい。

・もし、戦争をしようと思っても、他の国に友だちがいたら戦争なんてできないという言葉にハッとしました。誰もが、他の国に友だちがいると考えることができればいいと思いました。

・今日の講演を聞いて、平和の大切さや戦争によりどれだけの人々が亡くなり、苦しんだのかを改めて感じた。私は空襲や戦争による飢えなど、実際に体験したことはないけれど、歴史的想像力を持ち、後の世代にも伝えていくことが大切だと感じた。そのために、今の私たちにできることは限られているが、自分のできることをしようと思った。

・戦争というと、広島と長崎の原爆のことを言われがちだけれど、他の県も例外ではなく、50万人の方が亡くなったことがよくわかった。戦争をすると両国とも関係が悪化するし、人も亡くなる。だからこそ、今を生きている私たちや後世の人たちが「戦争をしない」、「平和を望む」ことが大事だと思った。